

四 半 期 報 告 書

(第81期第2四半期)

株式会社加地テック

大阪府堺市美原区菩提6番地

電 話 072(361)0881番

四 半 期 報 告 書

- 1 本書は四半期報告書を金融商品取引法第27条の30の2に規定する開示用電子情報処理組織(EDINET)を使用し提出したデータに目次及び頁を付して出力・印刷したものであります。
- 2 本書には、上記の方法により提出した四半期報告書に添付された四半期レビュー報告書及び上記の四半期報告書と同時に提出した確認書を末尾に綴じ込んでおります。

株式会社加地テック

目 次

	頁
【表紙】	1
第一部 【企業情報】	2
第1 【企業の概況】	2
1 【主要な経営指標等の推移】	2
2 【事業の内容】	3
第2 【事業の状況】	4
1 【事業等のリスク】	4
2 【経営上の重要な契約等】	4
3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】	4
第3 【提出会社の状況】	6
1 【株式等の状況】	6
2 【役員の状況】	8
第4 【経理の状況】	9
1 【四半期財務諸表】	10
2 【その他】	16
第二部 【提出会社の保証会社等の情報】	17

四半期レビュー報告書

確認書

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成25年11月13日

【四半期会計期間】 第81期第2四半期(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)

【会社名】 株式会社加地テック

【英訳名】 KAJI TECHNOLOGY CORPORATION

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 砥 上 剛

【本店の所在の場所】 大阪府堺市美原区菩提6番地

【電話番号】 072 (361) 0881 (代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役兼経理部長 新 井 光 司

【最寄りの連絡場所】 大阪府堺市美原区菩提6番地

【電話番号】 072 (361) 0881 (代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役兼経理部長 新 井 光 司

【縦覧に供する場所】 株式会社加地テック東京支社
(東京都新宿区西早稲田二丁目20番15号高田馬場アクセス)
株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第80期 第2四半期 累計期間	第81期 第2四半期 累計期間	第80期
会計期間	自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高 (千円)	2,131,287	2,398,142	6,596,061
経常利益又は経常損失 (△) (千円)	△33,090	5,772	259,760
四半期(当期)純利益 又は四半期純損失 (△) (千円)	△30,350	1,272	151,367
持分法を適用した場合の投資利益 (千円)	—	—	—
資本金 (千円)	1,440,000	1,440,000	1,440,000
発行済株式総数 (株)	17,180,000	17,180,000	17,180,000
純資産額 (千円)	5,201,592	5,312,907	5,373,091
総資産額 (千円)	8,783,611	7,349,778	8,143,913
1株当たり四半期(当期)純利益金額 又は四半期純損失金額 (△) (円)	△1.83	0.08	9.13
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	—	—	—
1株当たり配当額 (円)	—	—	4.00
自己資本比率 (%)	59.2	72.3	66.0
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	△391,599	468,273	△309,261
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	△19,012	△37,058	△60,799
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	△108,961	△74,609	△119,549
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	2,950,899	3,337,469	2,980,863

回次	第80期 第2四半期 会計期間	第81期 第2四半期 会計期間
会計期間	自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日
1株当たり四半期純損失金額 (△) (円)	△2.48	△2.10

- (注) 1 当社は連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については、記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
- 4 持分法を適用した場合の投資利益については、対象となる関連会社がないため記載を省略しております。

2 【事業の内容】

当第2四半期累計期間において、当社において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。
また、関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期会計期間において、経営上の重要な契約等は行われていません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第2四半期累計期間における日本経済は、消費者マインド改善を主因に個人消費が堅調に推移したこと、企業収益の改善を背景に設備投資が底打ちしたことから、内需主導で着実に回復しています。また、輸出は円安効果から持ち直しを続けているものの、その回復は緩やかなものにとどまっています。

一方、世界経済では、米国経済が住宅市場の改善・消費拡大と、堅調な国内需要を背景にした企業での設備投資が増加しており、緩やかな回復基調を維持しています。欧州経済は景気の停滞が続いていますが、一段の悪化に歯止めがかかりつつあり、景気後退期をようやく抜け出した可能性があります。中国経済は減速しているものの、景気のでこ入れ策から底打ちの兆しがみられ、輸出入が持ち直しつつあります。

このような状況下、売上高は化学プラント用特殊ガス圧縮機の売上等により前年同期比12.5%増の2,398百万円となりました。売上総利益は前述の売上高増加により、前年同期比10.9%増の450百万円となりました。販売費及び一般管理費が前年同期比0.6%の減、及び前述の売上総利益の増加により営業利益1百万円（前年同期は営業損失45百万円）となりました。経常利益は5百万円（前年同期は経常損失33百万円）、四半期純利益は、特別損失であるゴルフ会員権退会損3百万円の計上により1百万円（前年同期は四半期純損失30百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

圧縮機事業

当第2四半期累計期間の圧縮機事業における外部顧客への売上高は、前年同期比17.0%増の2,344百万円、セグメント損失は2百万円（前年同期はセグメント損失67百万円）となりました。

繊維機械事業

当第2四半期累計期間の繊維機械事業における外部顧客への売上高は、前年同期比57.7%減の54百万円、セグメント利益は前年同期比80.7%減の4百万円となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期会計期間の総資産は、7,349百万円で前事業年度に比べ794百万円減少しました。この主な要因は、預け金の増加500百万円があったものの、売掛金の減少755百万円、受取手形の減少167百万円及び仕掛品の減少212百万円があったことによります。

当第2四半期会計期間の負債は、2,036百万円で前事業年度に比べ733百万円減少しました。この主な要因は、買掛金の減少360百万円及び支払手形の減少230百万円があったことによります。

当第2四半期会計期間の純資産は、5,312百万円で前事業年度に比べ60百万円減少しました。この主な要因は、剰余金の配当66百万円があったことによります。

以上の結果、自己資本比率は72.3%となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、3,337百万円で、前事業年度末に比べ356百万円の増加となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、増加した資金は468百万円であります（前年同期比859百万円増加）。この増加は主に、仕入債務の減少額586百万円があったものの、売上債権の減少額755百万円及びたな卸資産の減少額184百万円があったことによります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、減少した資金は37百万円であります（前年同期比18百万円減少）。この減少は主に、有形固定資産の取得による支出36百万円によります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、減少した資金は74百万円であります（前年同期比34百万円増加）。この減少は主に、配当金の支払額65百万円によります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期累計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期累計期間の研究開発費の総額は50百万円であります。

なお、当第2四半期累計期間において、当社の研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

① 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	36,000,000
計	36,000,000

② 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年11月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	17,180,000	17,180,000	東京証券取引所 市場第二部	権利内容に何ら限定のない 当社における標準となる株 式であり、単元株式数は 1,000株であります。
計	17,180,000	17,180,000	—	—

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日	—	17,180	—	1,440	—	1,203

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合(%)
丸紅株式会社	東京都千代田区大手町一丁目4番2号	6,330	36.84
株式会社神戸製鋼所	兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通2丁目2番4号	700	4.07
加地取引先持株会	大阪府堺市美原区菩提6番地	583	3.39
株式会社みずほ銀行	東京都千代田区丸の内1丁目3番3号	338	1.97
みずほ信託銀行株式会社	東京都中央区八重洲一丁目2番1号	303	1.76
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内二丁目7番1号	200	1.16
東京海上日動火災保険株式会社	東京都千代田区丸の内一丁目2番1号	183	1.06
山内 正義	千葉県浦安市日の出	180	1.04
松原 佐多子	奈良県磯城郡田原本町	176	1.02
日本生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内一丁目6番6号	172	1.00
計	—	9,167	53.35

(注) 上記のほか、当社所有の自己株式611千株(3.56%)があります。

(7) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 611,000	—	—
完全議決権株式(その他)	普通株式 16,469,000	16,469	—
単元未満株式	普通株式 100,000	—	—
発行済株式総数	17,180,000	—	—
総株主の議決権	—	16,469	—

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式863株が含まれております。

② 【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社加地テック	大阪府堺市美原区菩提 6 番地	611,000	—	611,000	3.56
計	—	611,000	—	611,000	3.56

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

役職の異動

新役名及び職名	旧役名及び職名	氏名	異動年月日
取締役 (生産管理部長兼繊維機械室長)	取締役 (生産管理部長)	石原 祥行	平成25年8月1日

第4 【経理の状況】

1. 四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第2四半期累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

3. 四半期連結財務諸表について

当社は、子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

1 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	480,863	337,469
受取手形	※ 509,780	※ 341,951
売掛金	1,859,620	1,103,748
製品	12,624	14,524
仕掛品	1,156,450	944,166
原材料及び貯蔵品	211,507	236,892
預け金	2,500,000	3,000,000
その他	215,870	185,084
貸倒引当金	△22,800	△14,000
流動資産合計	6,923,917	6,149,838
固定資産		
有形固定資産	860,787	849,591
無形固定資産	43,126	47,156
投資その他の資産	316,081	303,191
固定資産合計	1,219,995	1,199,939
資産合計	8,143,913	7,349,778
負債の部		
流動負債		
支払手形	686,053	455,288
買掛金	535,414	174,739
短期借入金	200,000	200,000
未払法人税等	—	7,178
前受金	209,961	41,806
賞与引当金	150,472	150,836
受注損失引当金	43,800	62,400
その他	266,562	255,839
流動負債合計	2,092,262	1,348,088
固定負債		
退職給付引当金	597,557	623,710
役員退職慰労引当金	79,198	54,862
その他	1,802	10,209
固定負債合計	678,558	688,781
負債合計	2,770,821	2,036,870

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,440,000	1,440,000
資本剰余金	1,203,008	1,203,008
利益剰余金	2,840,455	2,775,448
自己株式	△103,117	△103,502
株主資本合計	5,380,346	5,314,954
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	7,967	7,128
繰延ヘッジ損益	△15,222	△9,175
評価・換算差額等合計	△7,255	△2,047
純資産合計	5,373,091	5,312,907
負債純資産合計	8,143,913	7,349,778

(2) 【四半期損益計算書】
【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	2,131,287	2,398,142
売上原価	1,725,342	1,947,827
売上総利益	405,945	450,315
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	126,802	110,622
賞与引当金繰入額	34,568	32,939
役員退職慰労引当金繰入額	8,904	8,754
貸倒引当金繰入額	△1,900	△8,800
その他の販売費及び一般管理費	282,965	305,074
販売費及び一般管理費合計	451,339	448,590
営業利益又は営業損失(△)	△45,394	1,725
営業外収益		
受取利息	5,981	5,088
貸倒引当金戻入額	6,278	—
その他	2,175	2,824
営業外収益合計	14,435	7,912
営業外費用		
支払利息	1,586	1,296
為替差損	—	1,747
その他	544	821
営業外費用合計	2,130	3,865
経常利益又は経常損失(△)	△33,090	5,772
特別損失		
ゴルフ会員権退会損	—	3,300
特別損失合計	—	3,300
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△33,090	2,472
法人税等	△2,740	1,200
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△30,350	1,272

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△33,090	2,472
減価償却費	57,086	74,740
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	22,796	26,152
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	8,904	△24,336
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△111,622	△8,800
賞与引当金の増減額 (△は減少)	3,149	364
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	49,000	18,600
受取利息及び受取配当金	△6,281	△5,387
支払利息	1,586	1,296
固定資産除却損	—	337
固定資産売却損益 (△は益)	△107	△85
ゴルフ会員権退会損	—	3,300
売上債権の増減額 (△は増加)	186,083	755,546
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△400,532	184,998
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	8,451	△10,295
破産更生債権の増減額 (△は増加)	109,722	—
仕入債務の増減額 (△は減少)	△188,093	△586,077
その他	29,369	△5,569
小計	△263,578	427,257
利息及び配当金の受取額	4,587	5,795
利息の支払額	△1,501	△1,286
法人税等の支払額	△131,107	△21
法人税等の還付額	—	36,528
営業活動によるキャッシュ・フロー	△391,599	468,273
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△15,763	△36,409
有形固定資産の売却による収入	107	25
無形固定資産の取得による支出	△3,356	△573
その他の支出	—	△100
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,012	△37,058
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△10,054	△8,453
自己株式の取得による支出	△99	△385
配当金の支払額	△98,806	△65,770
財務活動によるキャッシュ・フロー	△108,961	△74,609
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△519,574	356,605
現金及び現金同等物の期首残高	3,470,474	2,980,863
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 2,950,899	※ 3,337,469

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	
税金費用の計算	
税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。	

(四半期貸借対照表関係)

※ 四半期会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、前事業年度末日が金融機関の休日であったため、次の期末日満期手形が、前事業年度末残高に含まれております。

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
受取手形	47,245千円	—

(四半期損益計算書関係)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
現金及び預金	250,899千円	337,469千円
預け金	2,700,000千円	3,000,000千円
現金及び現金同等物	2,950,899千円	3,337,469千円

(株主資本等関係)

I 前第2四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成24年5月24日 定例取締役会	普通株式	利益剰余金	99,427	6.00	平成24年3月31日	平成24年6月27日

2. 基準日が当第2四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成25年5月24日 定例取締役会	普通株式	利益剰余金	66,279	4.00	平成25年3月31日	平成25年6月27日

2. 基準日が当第2四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(金融商品関係)

金融商品の四半期貸借対照表計上額その他の金額は、前事業年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

有価証券の四半期貸借対照表計上額その他の金額は、前事業年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

デリバティブ取引の四半期会計期間末の契約額等は、前事業年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	圧縮機事業	繊維機械事業	
売上高			
外部顧客への売上高	2,003,352	127,934	2,131,287
セグメント利益又は損失(△)	△67,240	21,845	△45,394

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第2四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	圧縮機事業	繊維機械事業	
売上高			
外部顧客への売上高	2,344,056	54,085	2,398,142
セグメント利益又は損失(△)	△2,499	4,224	1,725

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額 又は1株当たり四半期純損失金額(△)	△1円83銭	0円08銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額(△)(千円)	△30,350	1,272
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額 又は四半期純損失金額(△)(千円)	△30,350	1,272
普通株式の期中平均株式数(株)	16,571,025	16,568,953

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月13日

株式会社加地テック

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 原 田 大 輔 印
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 辰 巳 幸 久 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社加地テックの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの第81期事業年度の第2四半期会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書、四半期キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社加地テックの平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

【表紙】

【提出書類】 確認書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の8第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成25年11月13日

【会社名】 株式会社加地テック

【英訳名】 KAJI TECHNOLOGY CORPORATION

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 砥 上 剛

【最高財務責任者の役職氏名】 ー

【本店の所在の場所】 大阪府堺市美原区菩提6番地

【縦覧に供する場所】 株式会社加地テック東京支社
(東京都新宿区西早稲田二丁目20番15号高田馬場アクセス)
株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役社長 砥上 剛 は、当社の第81期第2四半期(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認いたしました。

2 【特記事項】

確認に当たり、特記すべき事項はありません。